

HART

年末は12月30日(金)まで
年始は1月3日(火)から開館
3日(火)伊藤清永展ご入場
先着50名様に新春お年玉
美術館グッズプレゼント!

57

HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

兵庫県立美術館

関連イベント

1) 記念対談

「伊藤清永の芸術を語る」
中山忠彦(洋画家・日本芸術院会員)
× 養豊(当館館長)
平成23年12月18日(日) 14:00~
ミュージアム・ホールにて
聴講無料(先着順、定員240名)

2) 学芸員による解説会

平成23年12月10日(土)、24日(土)、
平成24年1月7日(土)、21日(土)
いずれも16:00~(約45分)
レクチャールームにて
聴講無料(先着順、定員80名)

3) こどものイベント

「モデルになろう! +モデルを描こう!」
(詳しくはこどもプログラム欄をご覧ください)
平成23年12月17日(土) 10:30~15:30
アトリエ2にて
小学校3年~中学校3年 30名(要申込)

4) ミュージアム・ボランティアによる解説会

会期中の毎週日曜日 11:00~(約15分)
レクチャールームにて
聴講無料(先着順、定員80名)

お子さまを預けて
美術鑑賞はいかがですか?
当館内にて一時保育を実施!
平成23年12月14日(水)、18日(日)、
平成24年1月5日(木)、22日(日)
10:30~15:30
0歳(2ヶ月)~就園前のお子さまが対象です。
定員10名・予約制・有料
詳しくは、HeartMam(ハートママ)
(090-3948-3719)まで
当館HPもご覧ください。
URL <http://www.artm.pref.hyogo.jp>



絵筆に託す愛と祈り

(室内) 1948年 兵庫県立美術館蔵

生誕100年 ITO Kiyonaga : A Retrospective

伊藤清永展

12月10日(土) — 2012年(平成24)1月22日(日)

裸婦像で有名な伊藤清永(1911-2001)ですが、今回ポスター、チラシに起用したのは、当館所蔵の《室内》です。赤と緑が限りなく12月の雰囲気をかもしだしてはいないでしょうか? 妻と娘を描いた本作品は、戦後しばらく住んだ出石から東京に戻った直後のもので、無鑑査出品した第4回日展で前年に引き続いて見事特選を射とめました。文字どおり戦後の再出発を飾る作品です。このほか、設置後はじめて搬出され展示される愛知学院大学《釈尊伝四部作》など、ふだんは見られない作品も展示しますので、みなさんお誘いあわせの上、ご観覧ください。



《釈尊伝四部作「降誕」》1984年 愛知学院大学蔵



《釋尊》1936年 伊藤清永美術館蔵

観覧料

一般 1,200 (1,000) 円、大学生 900 (700) 円、高校生・65歳以上 600 (500) 円、中学生以下無料
()内は前売および20名様以上の団体料金(高校生・65歳以上は前売なし)
※障害のある方とその介護の方1名は各当日料金の半額(65歳以上除く)
※コレクション展の観覧には別途観覧料金が必要(本展とあわせて観覧される場合は割引あり)
※前売券は12月9日(金)まで販売します。会期中は前売券を販売しません。